

事務事業名		火葬場管理運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間	
	施策名	05 地域環境の保全と共生			
	基本事業名	02 良好な生活環境の保全		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)	
根拠法令		墓地・埋葬等に関する法律、同施行規則、大船渡市火葬場条例、同施行規則		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
所属	部署名	生活福祉部 市民生活環境課		01 04 01 06 01	
	係名	環境衛生係	電話 27-3111 内線 126		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・亡くなられた方と最後にお別れする場所としてふさわしい施設となるよう、市営火葬場(おおふなと斎苑、浄霊苑)を適切に管理する。おおふなと斎苑(立根町)は死体と動物死骸の火葬、浄霊苑(三陸町)は死体の火葬を行う。火葬業務と施設の維持管理は、指定管理者に委託している。 ・具体的な業務は、以下のとおり ①火葬業務及び施設の維持管理(清掃、草刈等)の業務委託 ②火葬場施設の整備及び修繕 ・事業費は指定管理者への委託料、施設の修繕費、光熱水費、保険料、消耗品費などに支出される。 ※東日本大震災の犠牲者の火葬に係る費用は3款災害救助費、被災したおおふなと斎苑の修繕に係る費用は11款災害救助費から支出。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 運営委託(指定管理者)のほか、火葬炉メーカーから火葬業務員・技術員の派遣を受け、おおふなと斎苑は死体等835件・動物136件、浄霊苑は死体61件の火葬を行った。また、火葬炉及び震災で被害を受けた建物等の修繕を行った。指定管理者による施設の維持管理は通常どおり実施された。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 火葬場使用申請により、死体及び動物の死骸を火葬する。保守点検の結果を基に、おおふなと斎苑及び浄霊苑の火葬炉を修繕する。おおふなと斎苑の国道入口看板、強風による屋根瓦のずれ及びサッシの不具合を修繕する。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 火葬場稼働可能日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ 設備保守点検回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 火葬場稼働可能日数	日	イ 設備保守点検回数	回	ウ	
名称	単位								
ア 火葬場稼働可能日数	日								
イ 設備保守点検回数	回								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 火葬場の利用者 火葬場	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 普通炉使用申請数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>キ 動物炉使用申請数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ク 火葬炉修繕予定箇所数</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 普通炉使用申請数	件	キ 動物炉使用申請数	件	ク 火葬炉修繕予定箇所数	箇所
名称	単位								
カ 普通炉使用申請数	件								
キ 動物炉使用申請数	件								
ク 火葬炉修繕予定箇所数	箇所								
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 利用者が気持ちよく使用できる 火葬場施設が良好な状態に保たれる	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 普通炉使用件数/普通炉使用申請数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 動物炉使用件数/動物炉使用申請数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス 火葬炉修繕箇所数/火葬炉修繕予定箇所数</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 普通炉使用件数/普通炉使用申請数	%	シ 動物炉使用件数/動物炉使用申請数	%	ス 火葬炉修繕箇所数/火葬炉修繕予定箇所数	%
名称	単位								
サ 普通炉使用件数/普通炉使用申請数	%								
シ 動物炉使用件数/動物炉使用申請数	%								
ス 火葬炉修繕箇所数/火葬炉修繕予定箇所数	%								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 良好な生活環境を確保する。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">財源内訳</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">年度</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(目標)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>26年度(目標)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,470</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>6,885</td> <td>5,650</td> <td>5,965</td> <td>5,709</td> <td>5,340</td> <td>6,435</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>22,924</td> <td>17,819</td> <td>17,039</td> <td>15,298</td> <td>17,722</td> <td>18,373</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>29,809</td> <td>23,469</td> <td>23,004</td> <td>21,007</td> <td>24,532</td> <td>24,808</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>31,409</td> <td>25,069</td> <td>24,604</td> <td>22,607</td> <td>26,132</td> <td>26,408</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>日</td> <td></td> <td>301</td> <td>304</td> <td>304</td> <td>304</td> <td>304</td> <td>303</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>回</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>件</td> <td>896</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>件</td> <td>136</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td>箇所</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>%</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>%</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td>%</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>		事業費	財源内訳	単位	年度						23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	投入量	国庫支出金	千円						1,470		都道府県支出金	千円								地方債	千円								その他	千円	6,885	5,650	5,965	5,709	5,340	6,435	一般財源	千円	22,924	17,819	17,039	15,298	17,722	18,373	事業費計(A)	千円	29,809	23,469	23,004	21,007	24,532	24,808	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2		延べ業務時間	時間	400	400	400	400	400	400		人件費計(B)	千円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600		トータルコスト(A)+(B)	千円	31,409	25,069	24,604	22,607	26,132	26,408	⑤活動指標	ア	日		301	304	304	304	304	303	イ	回	41	41	41	41	41	41	ウ								⑥対象指標	カ	件	896						キ	件	136						ク	箇所	5	7	5	5	5	5	⑦成果指標	サ	%	100	100	100	100	100	100	シ	%	100	100	100	100	100	100	ス	%	100	100	100	100	100	100
事業費	財源内訳				単位	年度																																																																																																																																																																														
		23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)		26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																																												
投入量	国庫支出金	千円						1,470																																																																																																																																																																												
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																																		
	地方債	千円																																																																																																																																																																																		
	その他	千円	6,885	5,650	5,965	5,709	5,340	6,435																																																																																																																																																																												
	一般財源	千円	22,924	17,819	17,039	15,298	17,722	18,373																																																																																																																																																																												
	事業費計(A)	千円	29,809	23,469	23,004	21,007	24,532	24,808																																																																																																																																																																												
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																												
	延べ業務時間	時間	400	400	400	400	400	400																																																																																																																																																																												
	人件費計(B)	千円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600																																																																																																																																																																												
	トータルコスト(A)+(B)	千円	31,409	25,069	24,604	22,607	26,132	26,408																																																																																																																																																																												
⑤活動指標	ア	日		301	304	304	304	304	303																																																																																																																																																																											
	イ	回	41	41	41	41	41	41																																																																																																																																																																												
	ウ																																																																																																																																																																																			
⑥対象指標	カ	件	896																																																																																																																																																																																	
	キ	件	136																																																																																																																																																																																	
	ク	箇所	5	7	5	5	5	5																																																																																																																																																																												
⑦成果指標	サ	%	100	100	100	100	100	100																																																																																																																																																																												
	シ	%	100	100	100	100	100	100																																																																																																																																																																												
	ス	%	100	100	100	100	100	100																																																																																																																																																																												

事務事業ID	0081	事務事業名	火葬場管理運営事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 おおふなと斎苑は、老朽化が著しかった旧火葬場の隣接地を拡張して平成10年6月に建設に着手し、平成11年7月に共用が開始された。浄霊苑は、昭和62年4月に供用開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 両火葬場とも、平成18年度から指定管理者により運営されている。浄霊苑については、火葬及び日常の清掃、草刈り業務等をおおふなと斎苑については、さらに自家用電気工作物や冷暖房設備、受水槽、自動ドアの保守点検、浄化槽の維持管理、施設の定期清掃、庭園樹木剪定等についても指定管理者に委託している。両火葬場は、現在、4名の従事者が交代で勤務し火葬等業務を行っているほか、指定管理者が再委託し実施している各種設備の保守点検等の立会いも行っている。高齢化社会を迎え、火葬件数が増えるとともに、火葬時間の短縮が求められるようになってきた。また、ペットを飼育する市民が増加し、動物火葬の希望が多くなっている。おおふなと斎苑は、旧施設と比較して敷地面積及び施設規模とも拡大するとともに、付帯設備も増加したことに伴い、管理、運営のためには多くの人員を要し、設備の保守点検も専門業者を必要とする状況にある。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 火葬場は、亡くなられた方と最後の別れをする場所であり、遺族にとっては、深い悲しみに包まれる特別な場所で、感情が激しく変化する状態にもなるため、火葬従事者の言葉遣いや態度には、特に気を付けた行動が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 火葬場施設を適切に管理することは、周辺地域の環境保全につながり、良好な生活環境の確保に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 火葬場経営は、自治体が行うのが一般的であり、特に地方ほどその傾向が強い。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 現在、住民からの苦情もなく、また、トラブルもなく管理、運営が行われており、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 火葬等業務を含め、各種設備の保守点検等の委託業務が適正に行われ、また施設の修繕も計画的に実施しており適切である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 市内には、市営火葬場以外に火葬業務を行っている民間施設はない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はないことから、統廃合はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は指定管理者への委託料と施設の保守及び修繕料、燃料費が主であり、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成18年度から指定管理者制度により業務を実施しており、適正な事業費での運営であると考え。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 現在、火葬に平均で1件あたり30,000円弱の経費がかかっている。現使用料を決定する際も、当時、単純計算で1件あたりの火葬経費が30,000円以上かかる状況にあったことから、無料であったものを有料とすることとしたが、市民誰もが死を迎え、火葬場を使用するという考えと社会状況を考慮して今の使用料となったため適切と考える。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>震災犠牲者の火葬については、火葬炉メーカーから業務員・技術員の派遣を受けたほか、県内広域火葬により適切かつ円滑な火葬に努めた。おおふなと斎苑の建物等が震災により一部損壊したが、国の災害復旧費補助金を活用して修繕を実施した。浄霊苑についても施設を修繕し、常に良好な状態で利用できるように努めた。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>火葬場は、おおふなと斎苑と浄霊苑の2施設があり、火葬の全体件数が増加している中で、浄霊苑での火葬は年々減少傾向にあり、施設も老朽化してきているが、三陸地区の住民が利用していることや災害等不測の事態への対応等を考慮し、現状の運営を維持していく。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	市民生活環境課長	
-------	----------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>震災犠牲者の火葬については、火葬炉メーカーから業務員・技術員の派遣を受けたほか、県内広域火葬により、通常とは大きく異なる状況にあつて、円滑な火葬が行われるように適切に対応した。浄霊苑についても近年の利用は減少傾向にあったものの、有事においては存在意義が非常に大きかった。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>近年、浄霊苑での火葬は減少傾向にあり、施設も老朽化してきていたが、東日本大震災では多数の死亡者を火葬しなければならず、2施設体制でも追いつかない状況であったことから、今後もこうした不測の事態への対応も考慮していく必要がある。このため、当面、現状どおり継続して運営を行っていく。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
